令和３年度第２回千葉市緑区公民館運営審議会議事録

１　日　時　令和４年３月２４日（木）　午後２時００分～午後３時００分
２　場　所　千葉市誉田公民館　１階　会議室
３　出席者　委　員　　８人
宮城　祐子　委員（副委員長）安部　浩一　委員
稲生　はるみ　委員　　井原　勝彦　委員
尾上　直美　委員　　久保　房代　委員
近藤　里子　委員　　古山　智和　委員
（欠　席：遠藤　秀隆　委員（委員長）　石井　芳夫　委員）
事務局　　１１人
小 倉 課 長（生涯学習振興課）　積 田 主 査（生涯学習振興課）
寺村主任主事（生涯学習振興課）　小 林 室 長（公民館管理室）
伊 藤 館 長（誉 田 公 民 館）　永 井 館 長（椎 名 公 民 館）
石 井 館 長（土 気 公 民 館）　五 味 館 長（越 智 公 民 館）
古 賀 館 長（おゆみ野公民館）　林 副 館 長（誉 田 公 民 館）
鴇 田 主 事（誉 田 公 民 館）

４　次　第
（１）開　会
（２）千葉市緑区公民館運営審議会副委員長挨拶
（３）千葉市生涯学習振興課長挨拶
（４）議　事
①報告事項
ア　令和３年度千葉市緑区公民館利用状況について（１月末現在）
②協議事項
ア　令和４年度千葉市緑区公民館事業計画（案）について
（５）その他
（６）閉　会

５　議事の概要
（１）開　会
（２）千葉市緑区公民館運営審議会副委員長挨拶
（３）千葉市生涯学習振興課長挨拶
（４）報告事項 ア 令和３年度千葉市緑区公民館利用状況について（１月末現在）
令和４年１月３１日までの千葉市緑区各公民館の「開館日数」「利用者数」及び誉田公民館図書室、越智公民館図書室の「開館日数」「蔵書数」「登録者数」「貸出冊数」等について事務局（誉田公民館長）から報告した。
（５）協議事項 ア 令和４年度千葉市緑区公民館事業計画（案）について

千葉市緑区全体事業、各公民館主催事業計画（案）を事務局（各公民館長等）から順次説明し、承認された。

6　質疑応答

（1）報告事項 ア 令和３年度千葉市緑区公民館利用状況について（１月末現在）
質疑等、特になし。

（2）協議事項 ア 令和４年度千葉市緑区公民館事業計画（案）について

久 保 委 員　２点質問させていただきます。１点目ですが、椎名公民館の再開について現在、おゆみ野公民館を利用している団体等には、なかなか周知されていないので今後、どのような対策をしていきますか。もう１点は調理に関する講座についてですが、公民館全体として今後も調理のみなのか、飲食可能も視野に検討していますか。

永 井 館 長　椎名公民館の再開については、昨年１２月に地域自治会の１４地区連絡協議会と定期利用団体を対象に説明会を行いました。その後、公民館だよりを作成して配付しましたが、再開についてのが説明が足りなかった地域もありますので、おゆみ野公民館にも協力いただき、周知していきたいと思います。また、周辺小学校には夏休みの主催事業の応募チラシを配布する際に、再度お知らせします。

小 倉 課 長　飲食を伴う主催事業については、３月２１日にまん延防止措置が解除されましたが、現在も医療現場等でひっ迫した状態が続いています。調理実習後の飲食については、飲食する際にマスクを一斉に取るため、感染リスクがかなり高くなります。そのため、現時点では当面の間は調理後の飲食については現状の調理のみでお願いいたします。コロナの感染状況が改善された場合に、改めて検討したいと考えています。

稲 生 委 員　オンライン講座を行っての問題点と、コロナ終息後もオンライン講座は実施していきますか。

小 林 室 長　オンライン講座開催方法については、いろいろな形態があります。現状ではどの形態が公民館事業に適しているのか、精査している段階です。

また、多くの参加者がオンライン講座を受け入れられるようにする ICT 関係の講座も積極的に取り入れています。その結果として、オンライン開催とする講座が増える可能性はあります。既に少しづつ成果は出ており、さわやか県民プラザが行っている、ちば県内の生涯学習講座の中から優れた取組みを表彰する「講座アワード」にて土気公民館のオンラインを活用した主催講座「ふれあい届け隊」が大賞を受賞しましたことを報告します。

安 部 委 員　講座の周知募集方法と募集期間、決定通知や講座中止等の場合

の連絡方法はどのように行いますか。

小 林 室 長　周知や募集方法については、市政だよりや千葉市公民館情報誌、公民館のホームページに掲載したり、館内掲示や対象施設へチラシの配付をしたりしています。募集期間については講座によってさまざまな事情がありますので、統一はしていません。

伊 藤 館 長　今までは先着制で行っていましたが、現在は抽選制で行っています。申込の際に連絡先を確認していますので、講座の中止や応募多数による抽選結果については、公民館から申込者に直接、連絡しています。

井 原 委 員　誉田公民館でクラブ連絡協議会を対象に行っている研修会の講師はどのような方ですか。また、対象はクラブ連協所属団体のみで、一般の利用団体は対象になりませんか。過去の研修会参加者の反応を教えてください。

林 副 館 長　クラブ連絡協議会研修会の講師につきましては、令和４年度は行政書士を講師に招いて実施します。クラブ連絡協議会役員代表者と相談してテーマを決めて、講師の選定を行います。対象につきましては、クラブ連絡協議会会員を対象に実施しますので、クラブ連絡協議会に加盟している方が対象となります。４月に定期総会があり、その中で研修会を実施します。過去の研修テーマは、福祉や食品に関する講座を行っていました。参加者は熱心に受講されていました。

井 原 委 員　今年度は誉田公民館で行われますが、今後、各公民館に回っていくことはありますか。

林 副 館 長　クラブ連絡協議会研修会は誉田公民館の主催事業のため、他の公民館での実施予定はありません。

小 林 室 長　千葉市生涯学習センターの中にある、ちば生涯学習ボランティアセンターには、様々な方がボランティア登録されています。講師の相談等もできますので、ご活用を検討してください。

井 原 委 員　土気公民館でクラブ連絡協議会の役員をしていますが、年々クラブ連絡協議会を脱退していく団体が多く、衰退の一途をたどっています。歯止めをかける対策として、誉田公民館の研修会を参考に各公民館でも検討、実施するのはいかがですか。

小 林 室 長　中央区にある、松ケ丘公民館でも過去にクラブ連絡協議会を対象に行っている事業がありました。

伊 藤 館 長　クラブ連絡協議会の脱退は公民館全体の課題であり、誉田公民館でも平成３０年度には４９団体あった加入団体数が、令和２年度には２０団体にまで激減しました。そこで、昨年度末からクラブ連絡協議会会長と協議を行い、定期利用団体の見直しを実施しました。定期利用団体でありながら、クラブ連絡協議会に加入せず、社会貢献活動等を行っていない団体については、クラブ

連絡協議会に加入して頂き、文化祭の手伝いなどの協力を呼びかけました。なおかつ、意見の多かった役員の負担軽減では、役員会の開催回数を１０回程度あったものを半分程度に縮小、会費を取らないことで、会計と会計監査の役職を廃止することで役員数を減らすことにしました。その結果、２０団体から４６団体まで戻りました。

ただし、次年度行ってみて不都合がある場合には、改めてクラブ連絡協議会と協議していきます。今後、クラブ連絡協議会をどう存続させていくのか、また文化祭の在り方についても千葉市公民館全体の今後の課題だと思います。

井 原 委 員　一公民館だけで考えるのではなく、公民館同士での連携の幅を広げ、更には生涯学習振興課にも相談していく必要があり、公民館単体では限界があります。土気公民館のクラブ連絡協議会役員数は４人なのでこれ以上減らすことが難しいです。役員の高齢化に伴い、特に文化祭の資料作り等で負担が大きくなり、脱退が加速します。

伊 藤 館 長　どこのクラブ連絡協議会でも、高齢化に伴いパソコンがネックになっているので、改善案として例えば、資料作成については手書きを書記の役員で行い、手書きを基に公民館職員がパソコン入力するなど、役割分担を行いながら協力をしていきたいと思います。

古 山 委 員　少年教育について、主催事業に定員があると思いますが、応募したが落選して参加できなかった子どもはいますか。その場合、定員を増やしたり、追加講座を設けたりの対応はありますか。

古 賀 館 長　全ての講座で定員数を超える申込みがありましたが、第１希望から第３希望まで伺い、できるだけ多くの方に参加していただけるようにしています。

五 味 館 長　ほぼ、定員数でした。ただ、今年度から実施した陶芸教室は定員の３倍以上の応募がありました。そのため来年度では定員数を倍にして実施予定です。

石 井 館 長　今年度は定員数を大幅に超える応募がありました。そこで講師に相談し、午前だけの予定だった講座に午後の部を増やして対応しました。

永 井 館 長　椎名公民館は閉館中だったため実施していません。

林 副 館 長　定員数は現在、部屋の定員数のおおむね半分で募集しています。ほぼ定員数通りでした。

井 原 委 員　文化祭が新型コロナウイルスの影響で、この２年間開催されていません。この先の感染状況も分からない中で判断は難しいと思いますが、公民館の気持ちとしては文化祭の開催を考えていますか。

伊 藤 館 長　文化祭の実施の有無については、緑区内公民館で統一していました。昨年度も実施する方向で進めていましたが、８・９月からの感染拡大に伴い、全館中止を決めました。今年度も実施の方向で進めていきたいと思いますが、感染の状況を踏まえて、中止の判断をせざるを得ない場合もあります。

（３）そ の 他

特になし。